

# RegCondExec

[ダウンロードページ](#)からダウンロードしてください。

---

## 特徴 [レビュー・紹介](#)

---

### 特徴

- 本ソフトはCondExecの状態変化監視対象をレジストリに変更したものです。
- レジストリエントリの現在状態や状態変化により、アプリケーション起動等の処理を行うことができます。
- 処理実施のトリガーとするレジストリエントリの状態として、以下の条件を指定できます。
  - レジストリエントリの存在 / 非存在
  - レジストリエントリの型 ( BINARYやSTRING等 )
  - レジストリエントリのデータ内容
- レジストリエントリ状態のチェック方法として、以下を指定できます。
  - 対象レジストリエントリが現時点で指定状態の場合 ( 状態マッチ時 ) に、指定した処理を実行する。
    - 現時点で指定状態ではない場合 ( 状態アンマッチ時 ) に行う処理も指定可能
  - 対象レジストリエントリが現時点では指定状態ではない場合のみ、指定状態に変化するのを待ち、指定した処理を実行する。
    - 現時点で指定状態の場合 ( 状態アンマッチ時 ) に行う処理も指定可能
  - 対象レジストリエントリが現時点で指定状態であれば、指定した処理を実行する。現時点で指定状態ではない場合、指定状態に変化するのを待ち、指定した処理を実行する。
- 対象レジストリエントリが指定状態に変化するのを待つ場合の、最大待ち時間を指定することができます。
  - 最大待ち時間が経過しても指定状態に変化しなかった場合 ( タイムアウト時 ) に行う処理も指定可能
- 実行する処理は、複数処理を一連の処理として指定することができます。
  - 複数処理を指定する場合、処理が終わるのを待ってから後続処理を行うか、終わるのを待たずに後続処理を行うかを、各処理ごとに指定可能
- 実行する処理は、状態マッチ時、状態アンマッチ時、タイムアウト時のそれぞれ個別に指定できます。
- 実行する処理として、以下を指定できます。
  - 何もしない
  - 指定アプリケーションを起動する
  - 一定時間の待ちを行う
- レジストリエントリ状態のチェックを開始する前提条件も指定できます。
  - 前提条件として指定可能な項目は、処理実施トリガーのレジストリエントリと同様。
  - 前提条件が満たされない場合は状態アンマッチとなり、指定された状態アンマッチ時の処

理が実行される。

- 自分で設定ファイルを記述して、対象レジストリエントリや起動するアプリケーションの指定等を行う必要があります。
- 

## レビュー・紹介

本ソフトのレビューや使用方法の紹介などをしてくださっているページです。

- BUGまみれ

- RegCondExec解説ページ

- 本ソフトの条件指定方法の解説や、条件指定と実行される処理の関係が非常に分かりやすいフローチャートがあります。

- 携帯便利ツールEZ-INFO

- W-ZERO3[es]のサスペンド関係で、本ソフトを実際に使用しているいろいろと実験されているようです。右上よりキーワード「RegCondExec」で検索していただくと、関連記事をまとめてご確認いただけます。
-